

目 次

一 般 講 演

病 害 の 部	頁
イネ黄萎病の発生機構に関する研究	
第1報 栽培時期と発病との関係……………高野誠義・高野十吾・小森 昇・岩本静之	1
イネ黄萎病の発生機構に関する研究	
第2報 第1次感染と第2次感染について……………安尾 俊・石井正義・小森 昇・岩本静之	2
イネ萎縮病の発生とツマグロヨコバイの発生量との関係……………安尾 俊・石井正義・山口富夫	3
イネの湛水直播による2, 3病害の発生と防除について……………下山守人・近藤 租・横山徹男	4
イネ白葉枯病薬剤防除試験について……………祝迫親志・高野誠義・渡辺正信・今内 稔	5
埼玉県におけるナス半身萎ちよう病の発生……………吉野正義	6
長野県に発生したトマトかいよう病……………市川久雄・下山守人・原田敏男	7
トマト萎ちよう病に関する研究(第1報)感染と発病について……………高久恒夫・杉本 堯	8
トマト細菌性斑点病の防除……………今村昭二・中村忠敬	9
トマト種子の発芽におよぼす温湯および2, 3薬品の影響……………尾沢 賢・有馬 博	10
ツケナ根こぶ病に対するPCNB粉剤, 同液剤の効果に関する試験……………横浜正彦・新井 茂・菅田重雄	11
ツケナ根こぶ病に対する新農薬の効果……………吉沢中夫・酒井桂介	12
ハクサイ根こぶ病の薬剤防除について……………渡辺正信	13
山東菜根こぶ病に対するPCNB粉剤の防除効果について……………飯島文夫・高瀬一太郎・吉野正義	14
レタス菌核病菌に対する各種殺菌剤の効力比較試験(室内試験)……………長井雄治	15
クロルピクリンによるキュウリつる割病の防除……………阿部善三郎・平野寿一・本橋精一	16
ダイコン萎黄病防除の実際……………手塚徳弥・杉本 堯・高久恒夫	17
ネギ銹病の薬剤防除……………吉野正義・須藤拓也	18
ゴボウの黒変症状(ヤケ)の防除試験……………須藤山路・伊藤喜隆・酒井 保	19
ゴボウ根腐れ症の成因およびその対策	
(1)クロルピクリンによる土壌消毒の効果……………吉野正義・安 正純・並木弘治	20
PCNB粉剤によるビート根腐病の防除……………原田敏男・下山守人	21
各種薬剤によるコンニャク腐敗病, 葉枯病防除試験(第2報)……………高野誠義・祝迫親志	22
リンゴにおける <i>Glomerella cingulata</i> の越冬場所について……………有馬 博・尾沢 賢	23
日本ナシの実腐れをおこすペスタロチア菌について……………吉野正義・小林五郎	24
ブラジオラスの種球消毒……………阿部善三郎・平野寿一・本橋精一	25
新殺菌剤ダイホルタンに関する研究……………奥西正夫・松行 均・原 敏彦・細辻豊二	26
そ菜畑におけるクロルピクリンの土壌病害, 土壌線虫に対する効果に関する試験……………横浜正彦・新井 茂	27
桑葉に対する水銀剤の薬害……………斎藤 敬・大槻 昭・小林和男・中山朝夫・早河広美	28
広幅散布機による穂いもち病, ニカメイチュウ第2世代およびジャガイモ疫病防除効果	
……………市川久雄・原田敏男・呉羽好三・柴本 精・黒岩 匡	29
共立畑作用スピードマスターによるいもち病, ニカメイチュウの防除	
……………市川久雄・原田敏雄・呉羽好三・柴本 精・黒岩 匡	30
ヘリコプタ散布による水銀液剤のイネいもち病防除効果……………安 正純・吉野正義	31
殺虫剤のヘリコプタ散布によるハクサイウイルス病の防除効果	
……………早河広美・清水節夫・加藤米司・梅香栄司・広瀬健吉・高野利康	32
Fan and pad systemによるガラス室の冷房……………森 寛一・池上雅春	33
害 虫 の 部	
水面施用剤に関する研究	
(第13報) BHC水面施用剤の施用方法について(2)……………都築 詢・前川定文・細辻豊二	34
ニカメイチュウ第1世代に対するBHC水面施用時期……………柴本 精・市川久雄・呉羽好三	35
BHC剤水口施用によるニカメイチュウ第1世代の防除効果……………小菅喜久弥・保坂義行	36
ニカメイチュウ第2世代に対するパイジット乳剤の散布時期試験……………黒沢三樹男・弥富秋彦・古谷 睦	37
ニカメイチュウ第1世代に対するBHC粒剤のヘリコプタ散布効果	
……………中村文男・柳沢藤治・柴本 精・市川久雄・早河広美	38
ニカメイチュウ第1世代防除のための空中散布によるBHC粒剤の効果……………高野誠義・高野十吾・渡辺正信	39
ニカメイチュウ第1世代のヘリコプタの液剤事業散布の効果……………松野 忠 男	40
空中散布によるニカメイチュウの防除効果……………和 泉 清 久	41
ニカメイチュウ第2世代およびいもち病に対する同時防除薬剤の効果……………村上正雄・高野光之丞・橋原義夫	42

ツマグロヨコバイの越冬について	中垣至郎	43
染色法によるヨコバイ類の加害部位(口針挿入部位)の検出方法	内藤篤	44
秋期のツマグロヨコバイに対する航空散布効果調査	熊沢隆義・谷中清八・尾田啓一・豊田文雄	45
各種殺虫剤のツマグロヨコバイ最終世代幼虫に対する秋期散布効果	宮沢俊治・柳武	46
農薬空中散布によるツマグロヨコバイの防除について	間宮哲・二宮融	47
ヒメトビウンカ第1回成虫のムギにおける産卵について	柳武・池田義久	48
ウンカ類の越冬幼虫に対するヘリコプタによるマラソン粉剤の秋期集団防除効果	林清道・窪田政衛・刈間昭光	49
ムギおよびトウモロコシ条萎縮病を媒介するヒメトビウンカの秋, 春期における集団防除	塚田益男・柳武・山本民平・宮原一郎	50
イネヒメハモグリバエの産卵に関する2, 3の観察	岩本静之	51
イネキンウワバの生態について(第2報)	岩本静之・高野誠義・稻生稔	52
麦間直播ほ場における水稻害虫ケラに対する薬剤種子粉衣の効果	秋野浩二	53
農薬施用法改善に関する二三の知見		
(II) ムギ類の冬季黄化現象と品種, 殺虫剤との関係	正木十二郎	54
ダイズ栽培様式と害虫防除について 第1報 栽植密度と害虫生息密度との関係	木暮幹夫	55
ネギハモグリバエに関する研究(1) 防除薬剤について	小川康一・高野光之丞・村上正雄	56
ダイコンのキスジノミムシの防除	伊藤喜隆・高野利康	57
ナガイモの黒変障害の防除	広瀬健吉・伊藤喜隆・酒井保・須藤山路	58
ナカジロシタバその後の発生と防除状況	高野誠義	59
コウモリガ( <i>Phassus excrescens</i> BUTLER)の生育と加害植物との関係	小尾充雄・保坂義行・小菅喜久弥	60
ブドウに加害するコウモリガ( <i>Phassus excrescens</i> BUTLER)の防除	小尾充雄・保坂義行・小菅喜久弥	61
トウモロコシに寄生するコウモリガの卵態越冬と防除	高橋保雄・飯塚茂治	62
ホップ加害ヨツスジヒメシクイの生態と防除について	田川憲夫・呉羽好三・市川久雄・関谷一郎	63
リンゴのハマキムシの生態と防除	関谷斎・伊藤喜隆・広瀬健吉	64
果樹における訪花蜂の活動について	北村泰二・伊藤喜隆・広瀬健吉	65
リンゴのクワコナカイガラムシに対するフッソールの効果	山岸義男・関谷一郎・呉羽好三・早河広美	66
ヘリコプタによるキンモンホソガの防除効果	久保田湊・広瀬健吉・関谷斎	67
アカガネサルハムシに対する2, 3殺虫剤の効果	保坂徳五郎・石井賢二	68
クリタマバチの総合的防除 I. BHC 粉剤使用の初期データについて	鳥居西蔵	69
ポリブデン乳剤の農薬への利用	栗林力	70
オカボシストセンチュウに関する研究 第3報 被害解析	尾田哲一・星野三男・谷中清八・熊沢隆義	71
モモ畑におけるネコブセンチュウの分布	湯浅利光・高浜健三・大野敏朗・小倉政衛	72
各種殺線虫剤による落花生キタネコブセンチュウの防除効果	吉田猛	73
大豆, 落花生に対する殺線虫剤の立毛処理に関する試験	川田惣平・与義実光	74
ネコブセンチュウに対するDD入り液肥の効果	永沢実・堀江典昭	75
線虫被害と肥培	気賀沢和男・土橋貞夫・国井喜章	76
ニンジンのネグサレセンチュウ防除	石川元一・高野光之丞	77
ネグサレセンチュウに対するEDBの効果	星野三男・谷中清八・尾田啓一・熊沢隆義	78
ネグサレセンチュウに対する各種殺線虫剤の効果	永沢実・堀江典昭	79
チャ樹の線虫について	石川元一・大東正美	80
殺線虫剤の陸稲生育におよぼす影響について	滝田泰章・尾田啓一・谷中清八・星野三男	81
ムギ類に対する殺線虫剤の影響について(II)	村上正雄・高野光之丞	82
ムギ類に対する殺線虫剤の影響について(III)	高野光之丞・村上正雄	83
殺線虫剤に関する研究 第7報 アクリル酸エステル類およびそのハロゲン付加化合物の殺線虫力	藤本啓一・岸川実一・横山昭一・松本清蔵	84
土壌pHと殺線虫剤に関する研究(I) 殺線虫剤(DD, EDB)が土壌pHにおよぼす影響	村上正雄・高野光之丞・相馬茂	85